

【第5回アフリカ開発会議サイドイベント】

「アフリカの経済変革」研究の中間報告：経済変革を促進するための官民連携のあり方について
ーアフリカ経済変革センターの最新研究成果を共有、戦略的な経済変革への方策について議論ー

国際協力機構（JICA）は、6月1日11時30分より、JICA横浜国際センターにて、アフリカの経済変革をテーマにセミナーを開催しました。民間企業や研究機関等100名弱の参加者を得て、アフリカからは、アフリカ経済変革センター（ACET）代表で元国連アフリカ経済委員会（UNECA）事務局長のアモアコ代表や、ACETのアンス・チーフ・エコノミストが登壇し、JICAの本間国際協力専門員が議長を務めて、経済変革を促進するための官民連携のあり方について議論しました。



アフリカ経済変革について議論を行う ACET アモアコ代表、同アンス氏、JICA 本間専門員（右より）

このサイドイベントは、多くのアフリカのリーダーが必要と指摘しているアフリカの経済変革（Transformation）に関し、アフリカを代表するシンクタンクであり経済変革のオピニオンリーダーである ACET から最新研究成果を共有すると共に、経済変革に向けた努力や民間セクターの現状を理解しながら、経済変革を促進するための官民連携のあり方について議論することを目的に開催されました。

ACET のアモアコ代表は、ACET の役割を紹介すると共に、アフリカの経済成長を確かなものにするための経済変革の重要性や、日本企業のアフリカ進出への期待と経済変革への貢献を強調しました。また、ACET のアンス・チーフ・エコノミストは、ACET が10月に発刊を予定しているアフリカ経済変革報告書（ATR）の内容について報告を行い、アフリカ15か国における研究結果として、経済変革を推進するための方策の中でも、特に民間投資が重要であること、アフリカには多くの有望な投資機会があり、とりわけ製造業への投資が注目されることなどが示されました。これに対し、民間企業や研究機関からは、ATRの分析への関心と共に、投資環境改善の進展に期待を寄せる声が上がリ、現地パートナーや教育の重要性等も提起され、議論が展開しました。

アフリカの代表的な研究機関と日本・アフリカの民間企業・公的機関・大学等が参加した今回合の結果、経済変革の意味するところやあるべき方向性、投資が果たす役割、日本企業の進出への期待、そのために必要な投資環境整備などが、共通の論点として再認識されました。今回の議論が ATR に盛り込まれ、ひいては各国の政策に反映されていくことが期待されます。また、JICA は今後とも、政策対話から能力開発支援にいたるさまざまな形で、民間企業の直面する課題にも対応しながら、投資環境改善を始めとする経済変革に向けたアフリカの努力を支援していきます。

【第5回アフリカ開発会議サイドイベント】

■本イベントの登壇者

【開会の挨拶】

- ・市川雅一 JICA 理事

【発表者】

- ・ACET アモアコ代表・ACET アンス・チーフ・エコノミスト

【モデレーター】

- ・本間 JICA 国際協力専門員